

## 寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人あしづえ
テーマ名	フリーテーマ(文化やスポーツの振興)
事業名	演劇をしまねで創る魅力発信事業
事業費(うち助成金額)	1,267,000 円(100,000 円)
ネーミングライツ(該当があれば)	該当なし



### ■事業目的

演劇を志す若い人たちは東京一極集中しがちであったが、コロナ禍で東京での活動の機会を失い、演劇人は地方回帰の動きが出始めている。2020年11月には新国立劇場演劇研修所との合同研修を行い、参加した研修生たちからは、「活動するフィールドが東京だけではないということがわかり、目からウロコだった」「人生を考え直す契機となった」という感想が多く寄せられた。

地元では当たり前を感じていることも、地域外からの視点では、たくさんの魅力があるが、その魅力がまだ十分に発信できていないと言えない。地方でも活躍のフィールドがあることを浸透させるとともに、“ここでしか味わえない魅力”を広く伝えていき、関係人口の拡大につとめたい。

### ■事業内容

#### 演劇「ブラボー！フェアブル先生」

令和3年4月3日(土)～4(日)、4月17日(土)～18(日) 稽古2回

※5月以降の新型コロナの感染拡大により、首都圏での緊急事態宣言、まん延防止等重点措置などの発令による航空便の減便や県を跨ぐ移動の制限などにより、稽古日程の調整が難しく、予定していた公演をやむなく中止することとなった。

「焚き火とゴーシュ音楽の夕べ」 期日:令和3年11月13日(土)15:00～18:30

場所:しいの実シアター広場 来場者:300名

内容:広場で焚き火を囲み楽しんでもらう。「セロ弾きのゴーシュ」の演奏シーン上演。上演回数:3回

### ■事業成果と今後の展望

- ・「ブラボー！フェアブル先生」公演は、新国立劇場演劇研修所の協力により、全国公募・オーディションを経て、東京・神戸・福岡および鳥取・島根からプロ・アマチュアの13名が参加。稽古は4月に2回行い、集まったキャスト・スタッフからは、しいの実シアターおよび周辺環境のなかで作品に参加できることへの期待感が感じられた。
- ・新型コロナ感染拡大により稽古・公演は中止となったが、屋外で焚き火を囲んでゴーシュの演奏シーンを観てもらおう「焚き火の楽しさとゴーシュ音楽の夕べ」を企画したところ、県内から300人を超える来場者があった。来場者は屋外での焚き火に癒されながら、ゴーシュ音楽を楽しむことができたようだ。
- ・アンケートでは、とても満足、満足を合わせると96.3%であった。
- ・初めてしいの実シアターに来たという方、焚き火に興味を持ってきた方など、動機は様々であったが、劇場・しいの実シアターでの公演や「松江・森の演劇祭」にぜひ来たいとの声が多く聞かれた。自然の中にあるしいの実シアターの魅力を伝え、劇場の認知度を高めるとともに、劇場での公演や演劇祭への集客にもつなげることができた。